関連会社

「ATR環境音データベースⅡ」の紹介

~耐雑音性能向上を目指して~

概要

「ATR環境音データベース」は、実環境で収録した雑音のデータを製品化したものです。2005年より一部公開していますが、2020年に新たに雑音の種類を増やし、長時間、高品質のデータをリリースします。 雑音環境で利用する音声入力機器の開発や、雑音特徴分析、雑音モデル学習などに最適です。

特徴

- 地下通路、展示会場、バスターミナル、駅ホーム、電車内、 体育館など、広範囲の環境で収録を行い、全部で70種類 あります。
- ■時間とともに変化する実環境雑音を連続的に収録しており、 音声ファイルは合計約40時間(平均34分/種類)の長さが あります。
- 環境音データは、高感度のマイクロホンを使用し、48kHz、 16bit、ステレオ音声で収録されており、多様な目的にご利 用いただけます。

今後の展開

■ ATRでは20年以上にもわたり音声翻訳研究が行われてきました。それら研究のために収集されたデータを、より多くの方にご利用いただけるよう、データを整備し、製品化を進めていきます。

対コロナへの関連

■コロナ対策や働き方改革によりリモートワークが増え、様々な環境で音声入力機能をもつ機器が使用されています。それら機器の、ノイズ対策に是非ご利用下さい。

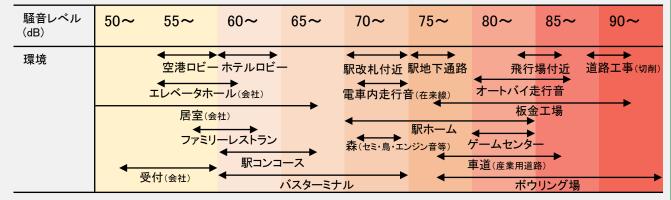
収録場所







騒音の目安





連絡先:株式会社ATR-Promotions 担当:河野みちよ E-Mail:kono@atr-p.com

「ATR環境音データベース」は、(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)音声言語コミュニケーション研究所の成果を、 (株)ATR-Promotionsが改変し製品化したものです。